



自分のペースで働く 新しいつながりが生まれる

シルバー人材センター



特集

「生涯現役」を 目指すあなたを 応援します

シルバー人材センター
高齢者無料職業紹介所
民生委員・児童委員



シルバー会員の声

シルバー人材センターは、就職は望まないが働く機会を望む人のための組織です。そのため、仕事の内容には次のような特徴があります。

- ・ おおむね月に10日以内程度
- ・ 週に20時間を超えない
- ・ また、仕事はセンターが発注者から引き受け、会員に提供します(派遣事業を除く)。



会員募集のために、県内各地で就業相談会やセミナーを開催。また、能力向上のための技能講習や就業体験なども実施しています。

宇城市シルバー人材センター

宇城市松橋町久具358番地4
高齢者センター2階

☎(33)78806

説明会

毎月第2水曜 13時30分

最近の「高齢者」は若い

「高齢者」と聞いて、あなたは何歳以上の人を思い浮かべますか。国際的には65歳以上が高齢者といわれますが、2016年の厚生労働省の調査では「70歳またはそれ以上」と答えた割合が60%を超えています。65歳では、まだまだ若いというイメージです。

昨年の総務省の調査では、65歳以上の高齢者が3557万人と、総人口の28.1%に上りました。逆に15歳以上65歳未満の「生産年齢人口」は1995年をピークに減り続けています。

宇城市の現状は

宇城市でも、前期高齢者(65歳~74歳)人口が、2015年から2025年まで増加し続け、その後緩やかに減少に転じると推計されています。

また、後期高齢者(75歳以上)人口は「団塊の世代」が全て後期高齢者となる2025年までは急激な増加が続き、その後2030年頃から減少していきます。

「生涯現役」の社会に

今後、急速に高齢化が進み、やがて「1人の若者が1人の高齢者を支える」社会が訪れると予想されることから、「生涯現役」であることはますます価値を持つようになりそうです。

高齢者も就労や地域活動など、社会の中でなんらかの役割を持ち続ける「支え手」になっていくことが必要な時代になっています。

社会参加は介護予防に

近年の研究結果で、ボランティア活動などの社会参加には、要介護状態になりにくい効果が認められました。誰かのため、地域のための活動が、自分の健康づくりと家族の幸せづくりに役立ちます。

宇城市でも多くの高齢者が、シルバー人材センター会員として、新たな職場の一員として、また、地域を支えるボランティアとして活躍しています。

今回の特集は、そんな生涯現役を目指す人たちと、それをサポートする仕組みを紹介します。



美代子さん(74 松橋町)

「月に15日くらい、岡岳グラウンドなどを5人のグループで清掃しています。草刈りやトイレ掃除をしてきれいになったときはうれしいですね」



澤津橋 一生さん(76 松橋町)

「体調管理や健康維持を第一の目的に働いています。外での作業も多く、自己管理を大切にしています。シルバー人材センターは前職に関係なく、新しいつながりが生まれるところがいいですね。健康に気を付け、孫へのお小遣いを稼いでいきたいです」

樹木選定講習スケジュール例 (2日間)

1日目	開講式
	剪定の基礎知識・用具の説明
	庭の管理・剪定
2日目	病害虫について
	(実習)剪定と整枝方法
シルバー人材センターについて	

保育補助講習スケジュール例 (4日間)

1日目	開講式	制作
	乳児保育	園での流れ
2日目	運動	安全管理
	コミュニケーション	
3日目	心肺蘇生	保育教材
	子育て支援	
4日目	シルバー人材センターについて	

会員をサポート

セミナーやシルバー技能講習会を開催し、会員のサポートを行っています。

樹木剪定講習は実技指導に加え、植物の基礎知識や道具の選び方・手入れ法など日常生活にも役立つ内容。

ここ数年、保育補助や介護補助といった新たな内容の講習会も開かれています。

講座の一例

- ・ 樹木剪定・清掃補助
- ・ 保育補助・調理補助
- ・ 介護補助・送迎安全運転



樹木剪定講習



保育補助講習